

第3学年美術科学習指導案

日 時 平成29年10月5日(木) 5校時
生 徒 3年A B組 (28名)
場 所 美術室
授業者 柴田康子

1 題材名 届け心の絵手紙

2 題材の目標

本題材は、学習指導要領の第2学年及び第3学年の目標(2)「対象を深く見詰め感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。」を主なねらいとし、「対象を深く見詰め感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出すこと。」(A表現(1)ーア)、「主題などを基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練ること。」(A表現(1)ーイ)、「材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現用法を工夫するなどして創造的に表現すること」(A表現(3)ーア)、「材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現すること。」(A表現(3)ーイ)「造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評しあうなどして、美意識を高め幅広く味わうこと。」(B鑑賞(1)ーア)に基づいて設定した題材である。

3 題材と生徒について

(1) 題材について

『届け心の絵手紙』は、今までお世話になった人、感謝したい人に心を込めて絵手紙を描く題材であり、墨や岩絵の具の特性を生かし、他者(手紙を送る相手)を意識した構想を練り創造的に表現することをねらいとしている。

今まで取り組んできた絵画とは違い、書道のように何枚でも描くことができ、一枚にかける時間も少なく済むので取り組みやすい。絵が得意な生徒も不得意な生徒も、味がある作品にしていくことができるところが利点である。今までの学習を総合的に生かして進めることができる題材である。

(2) 生徒について

美術の授業に関心、意欲をもって参加している生徒は多い学年である。生徒会の取り組み『ハッピープロジェクト』に対しては、意欲的であり、反応したり学び合いをしたりして、前向きな姿勢が見られる。

「学習課題をつかむ」では、生徒は本時の課題をある程度理解しているが、それぞれの自分の課題が曖昧で、課題を解決するための手立てを見通すことが出来ないでいる。そのため、それぞれの進み具合に差が出てしまう。そこで特に、遅れている生徒への声かけ等を毎時間していき、作品例などを見ながら一緒に考え、進み具合の差をなるべく少なくするようにしている。

「つかい」における学び合いの場面では、友達同士の交流は積極的に行うものの、自己解決のために相手の表現を学んだり、友達の作品のよさを感じ取ったりする力が不足している。そのた

め指導者として、鑑賞の視点を意図的に設定してきた。

「つなげる」の場面では、本時を振り返り学習カードに記入することになっている。単純に「まじめにやった」とか「作品ができた」ということだけでなく、「どこまで進んで次はどのような取組をしていくか」という観点で振り返らせるようにしている。また、そのことを次時の授業の導入で再度確認し、課題設定に生かすようにしている。

(3) 指導構想

導入では、何枚も描けること、大胆に描いてみたり、筆を変えて工夫したりすることによって味がある作品になることに気付かせていきたい。筆は、書道の筆のほかにタオルで作った筆や割り箸ペン、爪楊枝などを準備し、いろいろな線が描けるようにし、創造的な表現に結びつくようにしていく。

また、発想・構想段階では、感謝したい、手紙を書きたい相手を考えさせ、思いのこもった物にさせたい。何枚も描ける作品であることから、何枚か描き、そこから自分で気に入ったものを選んでいくことで、充実感を味わわせ、自己肯定感を高めさせたい。

4 題材の指導計画（全8時間、本時6時間目）

学習過程	項目	時数	学習課題・主な学習内容
導入	鑑賞 (造形的なよさや美しさなどに関する鑑賞・主題の創出)	1	「絵手紙の面白さを鑑賞しよう」 ・絵手紙とはどんなものか、いろいろな絵手紙を鑑賞しながら学ぶ。送る相手を考え、どんな気持ちを伝えたいかを考える。
展開	制作 (主題をもとにした表現の構想)	1	「届けたい心の絵手紙の内容を考えよう」 ・誰に何をどんな風に伝えるか。 ・相手のことを思い浮かべながら文を考える。
		1	「相手のことを考えて、絵の部分を考えよう」 ・相手の好きなもの、喜ぶもの、相手のイメージに合ったもの、文章にマッチしたものをさがす。 ・描くものの写真を撮る、資料を集める。 ・写真や資料は大きさを変えて3種類くらい準備する。
	制作 (創意工夫した表現・見通しをもった表現する技能の発揮)	4	「材料について試してみよう」 ・いろいろな道具で描いてみて、自分はどれを使うのか試しながら決めていく。 「届けたい心を表すために、筆や墨を工夫して描こう」 (本時2/4) ・決定した構図を、和紙に鉛筆で書く。 ・墨で表現する。(タオル筆、割り箸、爪楊枝) 「顔彩を使って、彩色しよう」(2時間) ・顔彩の特性を生かして、彩色していく。
まとめ	鑑賞	1	「鑑賞会をしよう」 ・自分の工夫した点、他の人の表現の良さについて発表しあう。

5 題材の評価規準

美術への関心 ・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
届けたい心の絵手紙を表現することに関心をもち、主体的に表現の構想を練ったり、材料や用具の特性を生かしたりしようとしている。	感謝の気持ちを絵手紙にしたい相手を考え、文と絵の組み合わせを考えるなど、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。	墨や顔彩の特性を生かし、表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。	形や色彩などの特徴や印象などから、言葉と絵を組み合わせた構成的な美しさ、制作者の心情、創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。

6 本時の指導

(1) 本時の目標

描こうとしている主題にあった筆を選んで、墨で描くことができる。

(2) 本時に係わる評価規準（評価方法）

【美術への関心・意欲・態度】 墨で描くことに興味をもって取り組むことができる（観察）

【創造的な技能】 墨や筆の特性を生かし表現方法を工夫することができる（観察）

(3) 本時の展開

階	生徒の学習活動 Q：教師の発問 A：(聴ける) 生徒の発言, 反応	・教師の指導上の留意点 【評価の観点】（評価方法）
導 入	1 前時の学習内容を振り返る。 Q：前時は何をしましたか？ A：いろいろな筆を使いました。 Q：ここでもう一度聞いてみます。みんなの届けたい心は何ですか？ A：私は母にいつもおいしいご飯を作ってもらっているので感謝の気持ちを届けたいです。だから、花の絵をタオル筆で中央に大きく描きます。文字は割り箸ペンで描きます。 Q：〇〇さん、あなたはどうですか？ A：僕は尊敬するお父さんに、ありがとうの気持ちを届けたいです。自身を描きたいので、割り箸ペンと爪楊枝で描いてみたいのです。	・前時の学習における生徒の進度を つかむ 。学習シートを渡して前時、何をしたか つかむ 。 ・自分がどんな材料で描こうとしているか つかませる 。
8 分	2 本時の学習課題を設定する。 Q：今日は、何を学習課題にしますか。 A：選んだ筆で、墨を使って描いてみます。	・本時はどんな活動をするのかを つかませて 、学習課題を設定したい。

届けたい心を表すために、筆や墨を工夫して描こう

<p>展 開</p>	<p>3 墨で描こう Q：それぞれ選んだ材料で、ためし描きしてみて、よかったら画仙紙に描いていきましょう。</p> <p>4 作品の学びあい Q：グループでそれぞれの作品を紹介しあってください。特にどんな道具を使ったか、紹介してください。工夫した点、選んだ筆によって表現方法が違っていています。そこについて交流しあってください。</p> <p>例) A：私の作品です。道具は割り箸ペンを使いました。細かいところも丁寧に表現しました。 A：その細かい表現、いいですね。私も試してみようと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で選んだ道具を使って実際に墨で描いていく。 【美術への関心・意欲・態度】 墨で描くことに興味を持って取り組むことができる。 (観察) 【創造的な技能】 墨や筆の特性を生かし表現方法を工夫することができる。 (観察) ・学びあいの視点を使って、自分の作品について発表し、級友の作品の工夫したところや筆のタッチについてなどを交流しあう。 ・「届けたい心を表現するために、こんな風に表したかったからここを見てほしい。」というように、具体的な表現方法を使って自分の作品を紹介する。
<p>32分</p> <p>終 結</p>	<p>5 発表 A：私はタオル筆を使いました。母に描きました。母が好きな花の絵を入れました。次の時間は母に似合う、明るい黄色をメインにして塗って生きたいです。 A：僕は部活のコーチに描きました。柔道着を細かく書きたかったので、割り箸ペンで描きました。</p> <p>6 自己評価カードを記入する。</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。 Q：今日の学習は、届けたい心を墨を使って表したね。表せたかな？どんな工夫をしたかな？さて、次の時間は何をしますか？ A：色を塗ります。 Q：みんなの気持ちに合った色を選んで塗っていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価によって次時につながるよう意欲を高める。 ・次の時間は何をするか考え、つなげる

(4) 板書計画

学習課題	生徒の作品を貼る。	つなげる
届けたい心を表すために、筆や墨を工夫して描こう		今回の彩色で、完成予想できるような作品例を提示。
つかみ	使い	
本日の道具 墨 筆 タオル筆 割り箸ペン 爪楊枝	筆、タオル筆、割り箸ペン、爪楊枝のそれぞれを使った作品例を提示する。	